

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる 社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる 自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> 主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。 社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。 	
下位学習目標	
【知識・技能】	
<ol style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる 社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ol style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる 自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ol style="list-style-type: none"> 数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている 社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている 社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている 	

授業日	1 1 / 2 7 (水)	2 学期授業回数	1 1 回目 / 全 1 1 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】①② <本時の具体的な目標> フィールドスタディに向けて、調査内容を確定することができる。		
時間 授業内容	0	連絡事項 探究の集いに関する連絡	
	5	導入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 学期最後の授業である。期末試験終了後にはインタビューがあり、今回の授業で可能な限り準備する。 ・ インタビュー終了後、忘れないうちにすぐメモをしておくこと。 ・ 始業式の日フィールドワークで調査したことをまとめ、スライド 3 7 まで完成させる。今後の予定としては、1 月 2 2 日には中間発表があり、質疑応答で出た意見を取り入れて 2 月のポスター発表になることをイメージする。 ・ ほとんどの班が、調査対象者にアポイントを取れた。事前調査を深め、インタビュー内容を確定していく。 	
	1 5	講義 事前調査の上で、インタビュー内容も考えていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットや本に書いてあることは事前に徹底的に調べる。調べた上で何を聞かか、当事者に聞いて明らかにしたいことを考える。例えば「本を読んだら〇〇と書いていたが、さらに詳しく教えてほしい」「ネットには〇〇と記載されていたが、こういう考え方はありませんか」など挙げられる。誰にいつ調査するかを担当教員に報告して終了とする。 ・ インタビューでわかった内容を情報カード（図 1）にまとめていく。 ・ インタビュー後に、その日帰ったらすぐにお礼メールで送る。 ・ チェックリストを参考にしながら、インタビューガイド（図 2）を作成していく。 	
	3 0	グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前調査と質問項目作成を進める。 	
	5 0	担当教員よりチェックを受けて終了 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共有フォルダ「研究計画書&調査一覧」に調査予定を入力。 	
評価方法	① 事前調査を踏まえ、当事者に聞いて明らかにしたいこと、深堀りしたいことを考え、質問項目を確定することができる。		
宿題指示	期末試験後のインタビューを見据え、インタビューの内容を確定していく。		



図 1) インタビューで分かった内容は情報カードにまとめていく

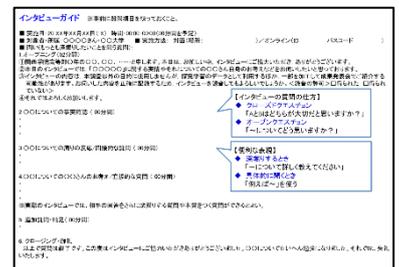


図 2) 1 学期の内容を踏まえ、インタビューガイドを作成。